

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	地域交流センター管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	企画部	課等名	男女共同参画課		包含する細々目	1	2	1	15	10	1		
政策	9 市民と共に進める行政経営												
施策	93 良質な行政サービスの提供												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	飯田市地域交流センター設置条例							
		事業期間	13	年度～		年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市民(利用者)	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了した終了年度とする
			107844	107000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	施設が適切に管理され、安全で快適に利用することができる	苦情件数(やらまいか提言箱など)	18目標	最終目標		
			18実績	5	19目標	4
		23目標	1	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	飯田市橋南第一地区再開発ビル「トップビルズ本町ビル」の2階、3階に所在する「飯田市地域交流センター(りんご庁舎)」の施設管理を行う 行政窓口機能と地域交流機能を兼ね備えた施設であり、両方の機能がそれぞれ最大限に発揮できるような管理を行う	18年度の実績	【行政窓口機能】 福祉事務所及び男女共同参画課の業務 市民証明コーナー開設(午後7時まで、土曜日は午前10時30分から) 【地域交流機能】 午前8時30分から午後10時まで開館(休館日12/31、1/1を除く) 会議室貸出 市民サロン・子どもサロン自由利用 オープンスペース展示貸出	窓口開設日数(平日) 窓口開設日数(土曜) 開館日数 会議室利用件数 会議室利用人数 オープンスペース利用日数	245日 50日 363日 1376件 18297人 263日
		19年度計画	【行政窓口機能】 福祉事務所及び男女共同参画課の業務 市民証明コーナー開設(午後7時まで、土曜日は午前10時30分から) 【地域交流機能】 午前8時30分から午後10時まで開館(休館日12/31、1/1を除く) 会議室貸出 市民サロン・子どもサロン自由利用 オープンスペース展示貸出	窓口開設日数(平日) 窓口開設日数(土曜) 開館日数 会議室利用件数 会議室利用人数 オープンスペース利用日数	245日 50日 364日 1350件 18000人 250日

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	778	778
一般財源	38,000	37,240	
事業費計(A)	38,778	38,018	
人件費	正規職員所要時間	18年度 780	19年度 780
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	2,789	2,789
	トータルコストA+B	41,567	40,807

特定財源内訳や補足事項	使用料 300千円 諸収入 478千円 (コピーサービス 1千円、パートバンク共用負担金 477千円)
-------------	---

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市役所が行うサービスが市民に対して確実に提供される	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(窓口サービス)	現状値	61.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 活気と賑わいの創出を目的に建設された市街地再開発ビル「トップヒルズ本町」の2階・3階部分に、地域交流センターが平成13年8月に開業した	事業を取り巻く状況の変化 平成18年10月に「トップヒルズ第二」ビルが竣工し、まちなかインフォメーションセンターがオープンした平成19年3月にトップヒルズ第二ビルに川本人形美術館が開業した	事業に対する市民や議会の意見 【やらまいか提言箱】 ・市民サロンの利用（机椅子が少ない、朝の清掃中に使用できない） ・子供サロン（男性が入室すると女性が授乳できない） ・その他（テレビ電源やトイレ照明のオフをすべきた） 【追手町小児童の提言】 ・3階へ行く方法が分かりにくい
--	---	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 施設の適切な管理を行うことで、行政窓口と地域交流機能のサービスに満足いただける	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 職員の資質向上、当直・清掃等の委託業務を含めた質の向上、より分かりやすい案内表示
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 地域交流センターという名のとおり、市民のための施設である	廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 市民証明コーナー窓口の利便性を確保する必要がある
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 利用者の視点で捉える	他に類似事業はありますか、また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 関連事業あり (類似事業名、理由) 市役所本庁 市民証明コーナー窓口 公民館等の貸し会議室 市民サロン、子どもサロンなどの自由利用スペース
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 条例によって設置されている	効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) トップヒルズ本町管理組合への共用管理負担金など、一定の管理費用はこれ以上の削減は難しい
	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 市民の公益的利用であれば、使用料の減免を行っており、地域交流センターの性格から妥当と考える	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	